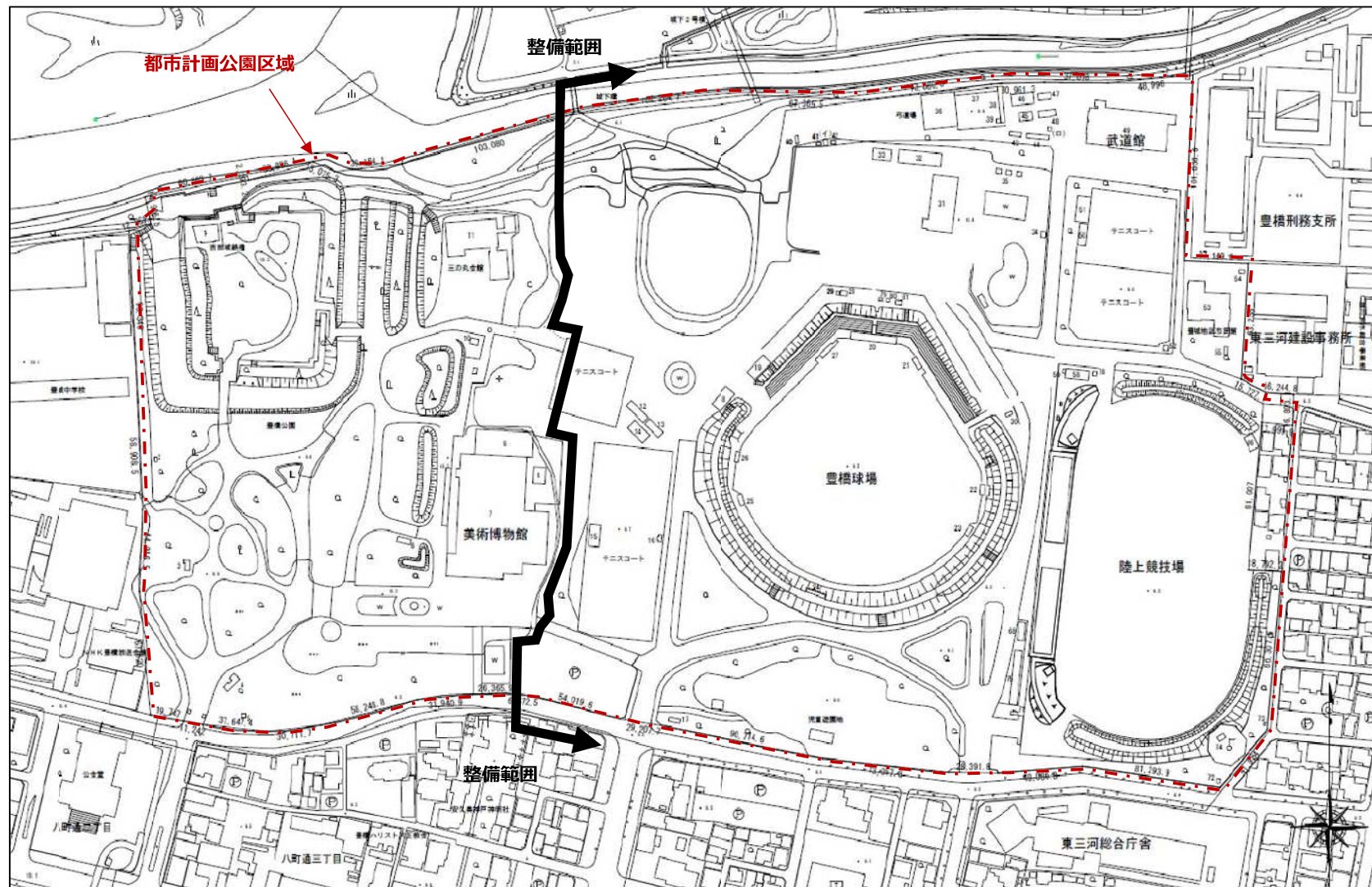


令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 八町校区

開催年度回次	令和4年度第13回	開催月日	8月21日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
議 題				市の回答			
<p>1. 新アリーナと豊橋公園内の整備について</p> <p>新アリーナについて、現在公表できる具体的な内容について教えてください。また、今後の展開については、アリーナだけでなく公園内の再整備計画についても地元への丁寧な説明をお願いします。</p>				<p>多目的屋内施設整備推進室</p> <p>新アリーナにつきましては、建設候補地として豊橋公園を選定し、今後、施設整備に向けた基本計画の策定業務等を進めてまいります。</p> <p>【新アリーナについての基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備予定地は「豊橋公園」とし、武道館など他の公共施設との集約・複合化も視野に入れ、防災活動の拠点としての活用も想定した整備を行います。 ・市民利用のほか B1リーグをはじめとするプロスポーツや若者が魅力を感じるコンサート興行、コンベンション機能など多目的利用が可能な 5,000 人規模のアリーナを目指します。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4～5年度 基本計画策定、公募資料作成 ・令和5年度 事業者公募・選定 ・令和6～8年度 設計、建設 ・令和8年度中 開業 <p>なお、整備場所は、【参考図面 豊橋公園内の事業計画地】のとおり豊橋公園内の各種スポーツ施設が建っているゾーンの一角に整備する予定ですが、この整備範囲における公園内の再整備につきましても、今後の基本計画の策定業務等の中で併せて検討を進めてまいります。</p> <p>また、公園内の駐車場について、新アリーナでの集客イベントのための整備は予定しておりません。</p>			

【参考図面 豊橋公園内の事業計画地】



開催年度回次	令和4年度第13回	開催月日	8月21日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 道路・側溝・河川について</p> <p>(1) 近年、全国的に突発的な豪雨が発生しており、校区の大雨対策として、令和2年12月3日に雨水浸透型側溝等整備の『要望書』を提出させていただき、昨年度に一部地域の工事が終了し大変感謝しております。 ハザードマップに示された残りの浸水危険地域についても早急に工事計画を進捗させていただき、校区民が安心して生活できる環境を整えていただきますよう強くお願い申し上げます。</p> <p>(2) 西八町交差点の歩道橋は建設されてから相当年数が経過し、劣化が進行して痛みも激しくなっています。平成30年10月10日の市長との「地域懇談会」でも要望していましたが、全く進展はありません。 国道1号線の西側で国道23号線の北側の住民(八町校区・松葉校区)は市役所側へ渡るのに歩道橋を使用せざるを得ず、特に高齢者は上り下りに大変苦勞しています。近時、校区行政相談員に対しても高齢者から『怖くて渡れない』との声も届き「国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所東三河維持出張所」へ様子を聞きに出かけています。 近時、突発的な災害が多発していることもあり、西側の低い土地への避難は考えられず、自ずと東側の公会堂やその他の避難所への移動をせざるを得ない状況です。現在の気象状況を考慮すれば、早急に高齢者でも安心して渡りやすいエレベーター付き地下道方式かエレベーター付き歩道橋の設置を市として調査し、県や国に対して強い働きかけを要望するものであります。</p>				<p>(1) 道路維持課 ご要望いただいております雨水浸透型側溝の整備につきましては、本年度以降、引き続き工事を実施させていただく計画です。校区自治会の皆様には工事期間中大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。</p> <p>(2) 道路建設課 西八町の横断歩道橋は、市役所をはじめとする主要な公共施設へ徒歩で向かう際の、主要な経路のひとつであります。いただいております議題は、その横断歩道橋の階段や斜路の昇降が支障となり高齢者の利用が困難になっているものと認識しております。これは、高齢者だけでなく、車いすの利用者やベビーカーを使用している方々にとっても同様のことであり、誰もが支障なく移動できる環境の整備に配慮をする必要があると考えます。 西八町の横断歩道橋を管理している国土交通省としましては、市からエレベーター設置の必要性が示され、要望があれば設置について検討を行う旨の見解をいただいております。 西八町の横断歩道橋を渡った先の公共施設は、日常的な利用だけでなく、災害時の拠点となるほか、イベントの開催も行われることから、それら施設へ誘導する際のエレベーターの必要性について、皆様方と一緒に考えていきたいと思っております。</p>			

開催年度回次	令和4年度第13回	開催月日	8月21日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
議 題				市の回答			
<p>2. 道路・側溝・河川について</p> <p>(3) 沖野地区(朝倉川来北岸の霞堤内)の水害被害低減について</p> <p>近年、沖野地区では毎年のように浸水が発生し、農作物や通勤・通学等に影響が出ています。田畑から他の施設への転換などによる、保水力の低下や、沖野川に流れ込む小溝(農地の給排水設備)の消滅など心配がつきません。</p> <p>このような状況の中、国土交通省による数年以内の小堤建設によって水害被害低減に向けて事業計画が進行しています。大雨時の逆流防止のため最下流部に樋門設置が予定されていますが、排水機場の設置予定はなく沖野地区の排水問題が心配です。</p> <p>小堤を乗り越えた水が沖野地区に流入した場合には、小堤により逃げ場を失った水が排水されるのに時間がかかり、農作物の被害が増えたり、地区内の道路の冠水が長期化し住民の生活に悪影響が出るのが懸念されます。耕作者や住民の不安を解消していただける対策をお願いしたいです。</p>				<p>(3) 河川課</p> <p>「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画(平成28年7月策定)」では、現在、国(豊橋河川事務所)により事業が進められている小堤が完成すれば、浸水頻度の減少とともに、小堤の能力を超えた雨により浸水が発生した場合においても、浸水面積及び浸水時間ともに減少し、被害が軽減するものとされています。</p> <p>牛川(沖野)地区の小堤整備においては、県が管理する朝倉川、市が管理する沖野川を含め、地区の状況を踏まえた排水検討が実施されているところです。</p> <p>今後、樋門の詳細設計の内容について、国と協議を進めていくこととなりますが、樋門の設計が確定する前の段階で、地域の皆様からのご意見を含め、様々なご意見を踏まえた設計となるように市からもお願いをしているところです。</p> <p>耕作者や住民の方が不安にならないよう、国、県、市など関係者がしっかりと連携して事業を進めるとともに、樋門、小堤の設計内容など、地域の皆様にわかりやすく説明する必要があるものと考えています。</p>			

開催年度回次	令和4年度第13回	開催月日	8月21日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
議 題				市の回答			
<p>3. 高齢者住宅等について</p> <p>校区内に高齢者住宅がありますが、近年、入居者が高齢化し住人だけの自治や管理業務が出来なくなり、住人間のトラブルも発生しております。</p> <p>建設は愛知県営シルバーハウジングを参考にされたと聞いていますが、住人フォロー機能がなく、相談ができない様子が問題だと思えます。</p> <p>また、建設当初は、町住民の公民館代わりとお聞きしていましたが、現在はほとんど町住民の利用はありません。市が施設管理者としての責任を明確化し、住宅課・住宅管理センターが前面に出て入居者と町住民相互のコミュニケーションを図り安心安全に生活できる仕組みづくりを徹底していただきたいです。</p>				<p>住宅課</p> <p>議題の高齢者住宅は、台所・浴室・トイレを備えた入居者専用の独立した居住部分と、食事や娯楽等生活の一部を入居者及び近隣住民と共用する談話室のある協同居住型の住宅(コレクティブハウジング)で、平成13年5月に入居を開始しました。</p> <p>建設から20数年が経過し、当初69歳であった入居者の平均年齢は、現在80歳を優に超え、高齢化がかなり進んでおります。</p> <p>住人間のトラブルは住人同士で解決することが原則であると考えますが、現状を鑑みますと、住人のみで解決することは難しく、問題が生じたときには、相談を受けたり、話を伺うような体制を整える必要があると考えています。</p> <p>また、各市営住宅においては、入居者の中から管理人を選出していただき、住宅課・住宅管理センターが作成した文書を入居者へ配布したり、入居者の状況を報告していただいたりしておりますが、本住宅につきましては、こうした実態から管理人を置かず住宅課や住宅管理センターが直接関与する等、入居者に寄り添う形での運用を考えています。</p>			

開催年度回次	令和4年度第13回	開催月日	8月21日	開催校区	八町校区	開催場所	八町校区市民館
議 題				市の回答			
<p>4. 八町小学校及びイマージョン教育課程について</p> <p>(1) プール跡に新校舎(多目的室)建築をしていただきありがとうございます。とても素晴らしい校舎で感謝しておりますが、「エアコン」が設置されていません。夏は暑く、冬はとても寒く環境的に問題があると思いますので善処をお願い致します。</p> <p>(2) 校舎建設の為に児童の遊び場としてあった「あすなろランド」の遊具が大幅にカットされ児童達がかっかりしています。以前のような大型遊具は無理にしても、少しでも遊具を増設していただければ児童たちも喜ぶと思いますので、よろしく願い致します。</p> <p>(3) イマージョン教育が始まり2年経過し課題が見えてきました。八町校区民と他の校区民の地域性の問題などいろいろありますが、徐々にいい方向に向かっています。 今、皆さんが一番思っていることは、イマージョン教育が小学校で終了してしまい、中学校は通常の中学校に入学しなければならないことです。 今後、中学校でのイマージョン教育課程の導入等についての考えを聞かせてください。</p>				<p>(1) 教育政策課 エアコン設置につきましては、全小中学校共通で全ての普通教室と、多目的室や特活室などを除く特別教室(理科室、音楽室、図工室、美術室、技術室、家庭科室、コンピュータ室、図書室)に優先的に実施したものです。 今後、全市的に学校での教室の利用状況等を踏まえ検討したいと考えています。</p> <p>(2) 教育政策課 特別教室棟の新設に伴い、学校と協議し、現在の遊具の配置とさせていただいたところです。遊具の増設については、子どもたちの様子や学校からの声を踏まえて、今後検討したいと考えています。</p> <p>(3) 学校教育課 中学校版イマージョン教育コースの設置の予定はありませんが、八町小学校の卒業生が進学する豊城中学校では、本年度より英語の少人数授業を開始し、一つのクラスはオールイングリッシュで授業を進めております。 イマージョン教育で培ったノウハウを生かして、八町小や松葉小の通常クラスの生徒も希望してオールイングリッシュの授業を受けられる体制を整えており、市内の他の中学校においても実施できるよう研究を進めております。</p>			